

福岡禅会について

久木田 寶州

(鎮西支部・福岡禅会)

福岡禅会のはしりは、当時雲龍庵松崎廓山老師が担当師家でありました平成元年に、福岡市で始められた「福岡禅会」になります。

福岡近隣に住む支部員4名に、佐賀・長崎の支部員2名を加えた6名を中心として、北九州からも交代で参加して開催していましたが、支部員の転勤・死亡・退団が重なり中断されていました。

これとは別に、平成12年に太宰府在住の熊本支部の渡邊清滝^{せいろ}・真珠夫妻が公民館を利用して「太宰府静坐会」を立上げられましたが、仕事の都合により中断されていました。その後、平成18年から同支部の松嶋瑞巖^{ずいがん}支部長夫妻・中本恵泉禅子（筑紫野在住）によって「筑紫野坐禅教室」が筑紫野市生涯学習センターで開かれておりました。

平成20年1月の教団の方針により、鎮西支部が「筑紫野坐禅教室」を引き継ぐことになりました（熊本支部は、新たに鹿児島に進出することになりました）。

このため、熊本支部から引継ぎを受け、平成20年6月から鎮西支部の主催で同教室を開催しました。

その後、会場は筑紫野市よりもっと交通の便が良く、福岡市に近い所が良いのではとの意見が出て、会場を探していましたところ、福岡市に隣接する春日市にある県立の施設「クローバープラザ」で開くことになりました。名称も「福岡市民坐禅講座」と改めることにしました。

第1回福岡市民坐禅講座は平成20年7月27日（日）に開催し、葆光^{ほうこう}庵春^{あんしゅんたん}潭^{たん}総裁老師に講演していただきました。参加者は新到31名の他、

本部・熊本・豊前・中央・東京第一の各支部からも参加していただき、総勢70名にもなる盛況でした。新到31名の内訳は、筑紫野坐禅教室より10名・無料広告雑誌による8名・団員の紹介による7名・新聞の行事案内による4名、J



福岡市民坐禅講座

R 駅構内ポスターによる1名・私鉄駅構内ポスターによる1名でしたが、無料広告雑誌を見て来られた人が多かったのには驚きました。

福岡市民坐禅講座の開催は、毎月第4土曜日の午後2時～4時に行っています。平成21年4月で10回になります。第3回以降の参加人員は10名前後になっています。毎回新しい人が2、3名来られますが、人員増には至っていません。

講座の内容は、静坐15分・叉手当胸さしめとうきょう（立って）5分・静坐15分・禅語の解説他30分・抹茶タイム30分（この間質疑応答）・静坐20分の約2時間です。

部屋は10畳2間で、座布団が20枚しかないため、30枚の座布団を鎮西道場から運んでいます。会費は、300円を頂いています。

5月からは、第3日曜日の午前10時～11時半にも行っています。

「筑紫野坐禅教室」は日曜日に開催されていたので、若い男性も来ておられました。日曜日にすれば、土曜日仕事で来られない人にも来てもらえるようになるかもしれないとの思いで、月1回の開催を月2回に増やすことにしました。時間を1時間半にしましたので、抹茶タイムを外しています。

7月末に2泊3日の修禅会を行うため会場を探していましたところ、恵泉禅子の紹介で、筑紫野市にある民家（敷地1,600坪）を使用させていただくことができました。感謝！感謝！



福岡修禅会の提唱

第1回福岡修禅会は、葆光庵春潭総裁老師にお出でいただき、7月24日(金)～26日(日)の2泊3日で、集中豪雨の中、どうにか終えることができました。

本部(芳雲庵老師・千鈞庵総務長)をはじめ、鎮西・豊前・熊本の各支部からも参加していただき、参加人員は36名になりました。そのうち12名が新到の方でした。新到の方々には、全員に参禅を体験していただきました。昨年7月の第1回目から参加されている73歳の男性が、最後の参禅で見性されたのには、驚きました。

9月からは、毎月1回(第3土曜日の午後)福岡禅会の会場として、上記民家を使用させていただくことになりました。内容は、坐禅・禅語の解説・作務を2時間程行う予定です。

次回の修禅会は、壮年部と合同で来年1月15日(金)～17日(日)に同民家をお借りして実施したいと考えております。

春日市のクローバープラザでは、9月からは月2回(火曜日の夜・日曜の午前中)の例会を行い、新しい人の定着を図り、常時15名くらいの参加者がいるように取り組んでいきたいと思っております。

合掌

著者プロフィール



久木田^{ほうしゅう}寶州(本名/正民)

昭和16年、鹿児島県生まれ。昭和40年、熊本大学建築学科卒業。昭和57年、人間禅松崎廓山老師に入門。現在、人間禅布教師。